

スマートフォン乗り換え合同相談会を開催します

令和8年3月末の3G回線サービス終了に伴い、4G回線未対応の折り畳み携帯電話（ガラケー）は利用できなくなります。そのためスマートフォンへの移行を考えられている人も多く、どんな機種があるのか、料金はどのくらいなのかといった不安を感じている人も多いと思います。そのような不安を解消するために、スマートフォンに関する相談会を次のとおり開催しますので、ぜひこの機会にお気軽にご相談ください。

日にち	場 所	時 間	参加費
12月1日(月)	東和総合センター	午前11時 ～	無 料
12月15日(月)	久賀総合センター	午後4時	

申込方法

各回開催日の3日前までに電話にて申し込みください。

氏名・住所・連絡先・ご希望の時間帯をお聞きします。

※当日受付は行っておりませんので、必ず事前に申し込みをお願いします。

申し込み・問い合わせ

政策企画課 DX 推進班 ☎ 0820-74-1007

令和8年版 山口県民手帳を販売します

山口県勢や日常生活に役立つ情報満載。スケジュール帳や日記帳にご活用ください。

なお、令和8年版をもって本手帳の発行は最後となります。

長らくのご愛顧ありがとうございました。

サイズ 縦14cm×横8cm

価 格 660円(税込)

取扱期間 令和8年1月末まで

取扱窓口

政策企画課（大島庁舎）、久賀・東和・橘の各総合支所、出張所（コンビニエンスストアや書店でも購入できます）

問い合わせ

政策企画課 広報情報統計班

☎ 0820-74-1007

周防大島の文化財 68

亥の子

周防大島町文化財保護審議委員 長尾 健彦

亥の子は旧暦十月の亥の日に行う男子だけの行事だった。亥の子の神は田畑生産の神である。当屋の家に円石（降臨石）を飾り、ご幣・お神酒・餅・二股大根などを供え、当日は円石に綱をつけ、亥の子唄を歌いながら各戸を搗いて回る。この行事には今は語られない幾つかの「なぜ？」がある。

(1)なぜ搗く家の順番を厳格に守るのか
亥の子は春に山から降りて来た田の神（田の神迎え）を山に送るために海から山へ向かって搗くのである。民俗学にいう「田の神送り」である。
(2)なぜ女子は加わってはいけないのか
山の神が女の神様だからであろう。
山の神が嫉妬をするのである。
(3)なぜ亥の子の日に大根畑に入っはいけないのか

東北地方では、亥の子を「大根の年取り」という。「大根の年取り（または大根の年越）」は十月十日のことである。この日に大根畑に入るのを忌むのである。その理由は、亥の子の日に大根畑に入らないのは、忌み籠りをせねばならない日だったからでは

ないか。大根畑に入ると神隠しにいうからである。
(4)なぜ亥の子の日に烏賊飯を食べるのか
恐らく烏賊がメインではなく大根がメインだったのだろう。二股大根を供えるのもその傍証である。
(5)なぜ円石はひき白の形をしているのか
稲作の収穫儀礼は、八朔の穂掛け祭り↓稲の刈り上げ↓扱き上げの三段階に分かれる。ひき白は扱き上げ儀礼のための依り代ではないか。「扱き上げ祝」を『広辞苑』に引くと「稲扱が終わった後の祝い。金扱や鎌に餅を供える習慣があった」とある。

(6)なぜ「亥」の日にするのか
亥は干支の最後で、猪は多産で豊作の象徴だからである。



▲安下庄の亥の子